

児童図書研究室ニュース

2020.5

福島県立図書館 <https://www.library.fks.ed.jp/>

No.104

県内

「第四次福島県子ども読書活動推進計画」を策定(福島県教育委員会)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/keikaku.html>

「ふくしまの未来をひらく読書の力」を基本理念に、第四次福島県子ども読書活動推進計画が策定されました。実施期間は令和2年度から概ね5年間となっています。生涯にわたって望ましい読書習慣を確立できるよう、家庭、学校、地域において、本に親しむ機会の充実を目指し、県全体で子どもの読書活動を推進します。

令和元年度「読書に関する調査」の結果について(福島県教育委員会)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/376481.pdf>

令和元年度「読書に関する調査」の結果が発表されました。調査結果については、福島県教育委員会ホームページに公開されています。なお、1か月間における平均読書冊数は小学生 11.2 冊、中学生 2.6 冊、高校生 1.7 冊でした。

開館 20 周年記念 特別企画展 あんびるやすこの作品展(こおりやま文学の森資料館)

<http://www.bunka-manabi.or.jp/bungakunomori/event/event1.html>

期間 2020 年 7 月 4 日(土)~8 月 30 日(日)

「なんでも魔女商会」、「ルルとララ」、「魔法の庭ものがたり」、そして新作「ムーンヒルズ魔法宝石店」など、小学生から絶大な支持を集める人気シリーズの作者、あんびるやすこの作品展が開催されます。

行政・政策

学校図書館・子どもの読書関連の 2020 年度予算額について(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/r01/1420672.htm

学校図書館・子供の読書関連予算額が、学校図書館総合推進事業 3,000 万円、子供の読書活動の推進 2,100 万円と発表されました。

助成

2020 年度子ども文庫助成事業について(伊藤忠記念財団)

<https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/library/grant.html>

募集期間 2020 年 4 月 1 日(水)~2020 年 6 月 20 日(土)当日消印有効

伊藤忠記念財団では、子ども文庫助成プログラムを行っており、現在、助成を希望する、民間のグループまたは個人、及びボランティア団体を募集しています。募集しているプログラムは、①子どもの本購入費助成、②病院・施設子ども読書活動費助成、③子どもの本 100 冊助成、④子ども文庫功労賞の4つです。

受賞図書・選定図書・課題図書

2020年国際アンデルセン賞受賞者決定(国際児童図書評議会:IBBY)

<https://www.ibby.org/awards-activities/awards/hans-christian-andersen-awards/hans-christian-andersen-award-2020>

作家賞は米国のジャクリーン・ウッドソンさん、画家賞にはスイスのアルベルティーヌ(アルバータイン)さんが選ばれました。日本からは、画家賞の最終選考に田島征三さんが含まれました。

ジャクリーン・ウッドソンさんの邦訳作品

『あなたはそっとやってくる』(さくまゆみこ／訳 あすなろ書房 2008.3)

『かあさんをまつふゆ』(さくまゆみこ／訳 E.B.レイス／絵 光村教育図書 2009.11)

『ひとりひとりのやさしさ』(さくまゆみこ／訳 E.B.レイス／絵 BL出版 2013.7)

『マディソン通りの少女たち1 マーガレットとメイソン』(さくまゆみこ／訳 沢田としき／絵 ポプラ社 2000.11)

『マディソン通りの少女たち2 青い丘のメイソン』(さくまゆみこ／訳 沢田としき／絵 ポプラ社 2001.1)

『マディソン通りの少女たち3 メイソンともう一度』(さくまゆみこ／訳 沢田としき／絵 ポプラ社 2001.4)

『ミラクルズボーアイズ』(さくまゆみこ／訳 さわだとしき／絵 理論社 2002.9)

『みんなとちがうきみだけど』(都甲幸治／訳 ラファエル・ロペス／絵 汐文社 2019.2)

『むこうがわのあのこ』(さくまゆみこ／訳 E.B.レイス／絵 光村教育図書 2010.11)

『レーナ』(さくまゆみこ／訳 沢田としき／絵 理論社 1998.10)

『わたしは、わたし』(さくまゆみこ／訳 鈴木出版 2010.7)

アルベルティーヌ(アルバータイン)さんの邦訳作品

『マルタとききゅう』(ゲルマノ・ズロ／ぶん イシグロケン／やく トランスワールドジャパン 2006.8)

『マルタとたこ』(ゲルマノ・ズロ／ぶん イシグロケン／やく トランスワールドジャパン 2006.8)

『マルタとじてんしゃ』(ゲルマノ・ズロ／ぶん イシグロケン／やく トランスワールドジャパン 2006.8)

第18回リンドグレーン記念文学賞決定(スウェーデン・アーツ・カウンシル)

<http://www.alma.se/en/Laureates/2020-Baek-Heena/>

第18回リンドグレーン記念文学賞は、韓国の絵本作家ペク・ヒナ(백희나)さんが受賞しました。

ペク・ヒナ(백희나)さんの邦訳作品

『あめだま』(長谷川義史／訳 ブロンズ新社 2018.8)

『おかしなおきゃくさま』(中川ひろたか／訳 学研プラス 2019.9)

『天女かあさん』(長谷川義史／訳 ブロンズ新社 2017.8)

『天女銭湯』(長谷川義史／訳 ブロンズ新社 2016.8)

『ふわふわくもパン』(ペク・ヒナ／文と絵 キム・ヒヤンス／写真 星あキラ, キム・ヨンジョン／共訳 小学館 2006.4)

『ぼくは犬や』(長谷川義史／訳 ブロンズ新社 2020.4)

「世界のバリアフリー児童図書—IBBYによる2019年選定図書」日本語版発行 (日本国際児童図書評議会:JBBY)

<https://jbb.org/news/domes-news/post-7577>

『IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities』の、2019年度日本語版が発行されました。20か国40タイトルの本が選ばれ、そのうち日本の本は、布の絵本の『モグモグぱっくん』(てのひらの会／制作)など3冊が選ばれています。

『夏がきた』(羽尻利門／作 あすなろ書房 2017.6)

『このあいだになにがあった?』(佐藤 雅彦, ユーフラテス／作 福音館書店 2017.5)

国際アンデルセン賞候補者の作品の中から20冊選出(国際児童図書評議会:IBBY)

https://www.ibby.org/fileadmin/user_upload/The%20Jury%20Recommends%202020.pdf

国際アンデルセン賞国際審査員によって、世界中の子どもたちに読んでほしい優れた本20冊が選ばれました。日本からは富安陽子さんの『盆まねき』(富安陽子／作 高橋和枝／絵 偕成社 2011.7)が入りました。選出された本のうち、現在邦訳出版されている作品は次のとおりです。

『空色の凧』(シヴォーン・パーキンソン／作 渋谷弘子／訳 さ・え・ら書房 2011.11)

『光草』(ロベルト・ピウミーニ／作 長野徹／訳 小峰書店 1998.10)

『いろいろのはなし』(グリゴリー・オステル／著 毛利公美／訳 東宣出版 2013.1)

『非武装地帯に春がくると』(イ・オクベ／作 おおたけきよみ／訳 童心社 2011.4)

2020年版「おすすめ！日本の子どもの本」(日本国際児童図書評議会:JBBY)

<https://jbb.org/news/domes-news/post-7584>

2020年版「おすすめ！日本の子どもの本」が発行されました。表紙は2019年ブラチスラバ世界絵本原画展で「金牌」を受賞した、きくちちきさんの作品となっています。なお、Japanese Children's Books(「おすすめ！日本の子どもの本」の英語版)は、JBBYのホームページで公開されています。

Children's Notable Lists 2020年版(米国図書館協会:ALAの児童図書館サービス部会:ALSC)

<http://www.ala.org/alsc/awardsgrants/notable>

Children's Notable Lists(注目すべき子ども向け資料リスト)2020年版のMiddle Readersの部門で、『The Beast Player』(上橋菜穂子さんの『獣の奏者』の翻訳作品)が選ばれています。選出された作品の中で、現在邦訳出版されている作品は次の3冊です。

『かわにくまがおっこちた』(リチャード・T.モリス／著 レウイン・ファム／絵 木坂涼／訳 岩崎書店 2019.8)邦訳

『みらいのえんそく』(ジョン・ヘア／作 椎名かおる／文 あすなろ書房 2019.6)邦訳

『桜の木の見える場所』(パオラ・ペレッティ／作 関口英子／訳 小学館 2019.11)邦訳

第 66 回青少年読書感想文全国コンクール課題図書(全国学校図書館協議会:SLA)

<https://www.j-sla.or.jp/contest/youngr/66kadai-kaidai.html>

第 66 回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が発表されました。

小学校低学年

『山のちょうじょうの木のてっぺん』(最上一平／作 有田奈央／絵 新日本出版社 2019.9)

『おれ、よびだしになる』(中川ひろたか／文 石川えりこ／絵 アリス館 2019.12)

『タヌキのきょうしつ』(山下明生／作 長谷川義史／絵 あかね書房 2019.7)

『ながーい5ふん みじかい5ふん』(リズ・ガートン・スキャンロン, オードリー・ヴァーニック／文 オリヴィエ・タレック／絵 木坂涼／訳 光村教育図書 2019.10)

小学校中学年

『青いあいつがやってきた!?』(松井ラフ／作 大野八生／絵 文研出版 2019.8)

『ねこと王さま』(ニック・シャラット／作・絵 市田泉／訳 徳間書店 2019.12)

『ポリぶくろ、1まい、すべて』(ミランダ・ポール／文 エリザベス・ズーノン／絵 藤田千枝／訳 さ・え・ら書房 2019.2)

『北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと』(中山由美／文・写真 秋草愛／絵 学研プラス 2019.8)

小学校高学年

『ヒロシマ 消えたかぞく』(指田和／著 鈴木六郎／写真 ポプラ社 2019.7)

『月と珊瑚』(上條さなえ／著 講談社 2019.7)

『飛ぶための百歩』(ジュゼッペ・フェスター／作 杉本あり／訳 まめふく／イラスト 岩崎書店 2019.8)

『風を切って走りたい！:夢をかなえるバリアフリー自転車』(高橋うらら／著 金の星社 2019.9)

中学生

『天使のにもつ』(いとうみく／著 丹下京子／絵 童心社 2019.2)

『11番目の取引』(アリッサ・ホーリングスワース／作 もりうちすみこ／訳 鈴木出版 2019.6)

『平和のバトン:広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』(弓狩匡純／著 くもん出版 2019.6)

高校生

『廉太郎ノオト』(谷津矢車／著 中央公論新社 2019.9)

『フラミンゴボーイ』(マイケル・モーパーゴ／作 杉田七重／訳 小学館 2019.10)

『キャパとゲルダ:ふたりの戦場カメラマン』(マーク・アロンソン,マリナ・ブドーズ／著

原田勝／訳 あすなろ書房 2019.9)